

# Assumption



聖母被昇天学院 學院報

No.15

2012/3/9

Kindergarten

Primary School

Junior & Senior High School



# 思い出の数だけ友だちが増えたね!

幼稚園



おもちつき  
2012年1月12日(木)

今年も聖母被昇天学院小学校1年生のお姉さんが参加して、仲よしペアのお友だちと一緒に力を合せておいしいおもちをつきました。



作品展  
2012年2月12日(日)

隔年で行われる作品展。今年は『日本昔ばなし』をテーマに、桃太郎は勇気はなさき山はきれいな心、かさじぞうはやさしい心、泣いた赤おには友情と、作品ごとにメッセージを持った。みんなで協力して造りました。



みんなで  
がんばり  
ました。  
レンジ。  
けわしい  
道のりを

お楽しみ遠足  
2012年1月31日(火)

全園児で行く最後の遠足は堺市にある『ビッグバン』。4階から8階まで続く大型ジャングルジムがあり、ヘルメットをかぶつてチャレンジ。

小学校

# 笑顔いっぱい 満足いっぱいの土曜日

わくわくサタデー  
2012年2月18日(土)

『わくわくサタデー』は2年に1度行われ、内容はその年ごとに父母の会によつて企画されている行事です。今年は、2本の縄を使って跳ぶ難度の高い縄跳び「ダブルダッフル」に挑戦。関西大学ダブルダッフルサークル「Mix Package」のみなさんに指導していただきました。

当日は朝から小雪がちらつきましたが、体育館に集まつた子どもたちちは元気いっぱい。まずは、大学生のお姉さんやお兄さんに模範演技を見とれていただけの子どもたちで



すが、いざ縄跳びを目の前にすると  
「やつてみよう」という気持ちがわいてきました。跳び方をていねいに教えていただき、同時に縄跳びの回し方のコツもつかんでいきます。

低学年では「ケンケン」をしながら跳んだり、高学年では、交差する長縄を跳びながら同時に順跳びをしたり、前後左右に動きながら交差する長縄を跳んだりと、すぐにできるようになったのは驚きです。

ダブルダッフルの後は「宝物探しゲーム」をしました。教室に隠れている数字のカードをまず探すのですが、宝物はカードの数字により内容もさまざま。自分よりも相手の宝物の方が気になるのか、互いのカードを見せ合う子どもたちもいる和やかなムードの中、あちこちで体育館とは違つた喚声が上がっていました。

最後は「憩いタイム」で、ポップコーンをほおばり、好きなジュースを飲んで和氣あいあいとした一日となりました。当日は、お手伝いのためにたくさんの保護者の方々が来校してくださいました。

さり、あ  
りがとう  
ございま  
した。



第47回高等学校卒業式  
2012年2月21日(火)

みんなに見守られ  
未来への一步を踏み出そう



## 深い絆はこれから私たちを支えてくれる“宝物”

『第47回高等学校卒業式』は、中高生活最後のミサで在学中無事に過ごすことができたことを感謝することから始まります。司祭のお話を厳かな気持ちで聞いた卒業生たちは、ミサ後、会場を講堂に移動、卒業証書が授与されました。

卒業生62名の代表として、富永敦子さんが「とてもあたたかい学年で過ごせたことに感謝しています。アサンプション・ファミリーの『絆』を糧に誇りを持って巣立っていきたい」と答辭を述べました。

昨日より今日、今日より  
ともに友情も深まつた！

高等学校2年生修学旅行  
2012年1月23日(月)～27日(金)



4泊5日の日程で高等学校2年生が、スキー実習をメインとした北海道修学旅行に行きました。生徒たちは連日マイナス8～10度という寒さの中、ニセコのゲレンデでスキー実習。初日は雪にふれて体を慣らし、2日目からレベル別にインストラクターがついてレッスンが始まりました。みんなで励まし合いながらがんばります。最初はリフトに乗ることさえビクビクしていた初心者も、最終日には全員滑ることができるようになりました。また、立ち寄った小樽の富岡教会では、

厳しい霧囲気の中で感謝の祈りを捧げ、小樽・札幌のまちでは、北海道の歴史文化にふれ、充実した時を過ごしました。この5日間で学年・クラスの絆をさらに深めた生徒たち。いよいよ最終学年へ向けての第一歩が始まろうとしています。

## 各種表彰一覧

### 〈小学校〉

#### ■第6回子どもエコ俳句大賞

(住友生命社会福祉事業団・シニア自然大学校 共催)

##### 低学年の部 特選作品

「パパの手が うちわだったら いいのにな」  
1年 阪口 和佳子



#### ■日本語検定

(特別協賛:読売新聞社 協賛:時事通信社・東京書籍)

##### 読売新聞社賞 優秀賞

（5級）6年 押井 夏海  
（6級）5年 榎原 沙弥 山名 葉渚 笹川 奈緒



### 〈中学校高等学校〉

#### ■平成23年度 箕面市青少年健全育成功績功労者表彰

公式の場で全国水準の記録を出し、他の模範となる者として、2月18日に本学院の生徒がささゆり褒賞を受賞いたしました。

- 〈放送部〉高3 策田 光
- 中3 猪口 愛里 大畠 明穂 小西 紗起子
- 中2 横内 若菜
- 〈書道科〉中2 高柳 薫杏 小中 利恵 団体賞中学校
- 〈英語スピーチ〉中3 渡邊 未来
- 〈シンクロナイズドスイミング〉中1 杉本 真生
- 〈バトントワリング〉中1 山品 ひかり
- 〈ピアノ演奏〉中1 山口 珠奈



#### ■第55回全国書きぞめ作品展覧会

##### 文部科学大臣賞(全国第1位)

高2 吉田 瞳

##### 日本PTA全国協議会会長賞(全国第2位)

中2 高柳 薫杏 団体賞高等学校

##### 郵便事業株式会社社長賞(全国第3位)

団体賞中学校



教えます！  
立ち寄つてみて  
幼稚園を訪れたら  
とつておきの場所を

私の  
好きな

# 聖母被昇天学院

My Favorite Assumption Spot

幼稚園児・児童・生徒のお気に入りの場所を紹介するコーナー。  
今回は幼稚園年長児たちにお話をうかがいました。

## 遊具がいっぱい並ぶ 第2園庭はみんなの自慢

幼稚園では「正しく、生き生きとした子ども」「やさしく、明るい子ども」「考え、最後までやりぬこうとする子ども」を教育目標に、3歳から6歳までの縦割り保育を行っています。各クラスの園児たちは、みな本当の兄弟姉妹のように仲良しで、年長・年中児はいつもやさしく年少児のお世話をしています。

今日は小学校入学を目前にして、すっかりお兄ちゃん、お姉ちゃんになつた年長児たちにお気に入りの場所を聞いてみました。

一番人気があったのは、カラフルで楽しいアスレチック遊具が



第2園庭



屋外

一方、先生に連れて行つてもらう小学校・中学校・高等学校のグラウンドでは、サッカーが大好きな、たくともやあつしくんがサッカーをしています。第1、第2園庭よりもずっと広くて、ときには小学生のお姉ちゃんたちと一緒に遊ぶこともあるようです。

(おとちゃん)

そろつた広い第2園庭です。みんなはここで何をして遊んでいるのかな？

## 雨の日はお部屋で ブロックやおままごと…

おもちゃがいっぱいあるお部屋で

は、ブロックを組み立てたり、おままごとをしたりしているそうです。のぞいてみると、今年は『作品展』が行

園で体操(Y M C A 体操教室)を習って、先生と走りに来ることもあるそうです。

花壇のある第1園庭もみんなのお気に入り。毎年、お正月にはお父さんやお母さんにも来ていただき、「おもちつき」が行われます。取材当日は中学校のお姉さんたちが園を訪問し、子どもたちと楽しく遊んでいました。

「もうすぐドッジボール大会があるから練習しているの」(りょうせいくん、げんじゅくん)  
「ここでもおにごっこやポケモンバトルゲームをしているの」(おとちゃん)



室内

「遊戯室でフラフープをしている」というのは、みほちゃんです。図書室では年少・年中のみんなに絵本を読んであげるそうです。

このほか、園庭のどこかにタカラモノを隠している子どもたちもいて(場所や名前はもちろんヒミツです)、幼稚園は

とてもステキなワンダーランド！保護者の方も幼稚園に来られたら、元気に遊ぶ子どもたちを見てください。

今回紹介してくれた園児たち



遊戯室

# 聖母被昇天学院の英語教育

English Education of Assumption

## 歌やゲームを通して 楽しみながら英語を学ぶ

本園では幼児期の英語教育を、ただ「言葉を教え込む」のではなく「遊びを通しての発達」という、幼稚園教育要領に準じて行っております。そこで、北米の『Education Through Music』という全人教育プログラムを使い、英語の歌を歌いながらリズムや音声に慣れ、イメージを膨らませたり、表現したりと遊びを通して自然に英語に親しむことをを目指しています。できるだけ楽しい環境の中で、子どもたちはまわりから認められたり、友だちと響き合う喜びを感じたりして「みんなと英語で歌ったり遊んだりすることは楽しい！」という原体験を重ねています。



## 英語あそび(ETM)

月2回、年長児を2クラスずつ5組に分けを行っています。教室に入ると元気一杯の「Hello!」。お百姓さんの物語の家族になつて歌を歌つたり、ボタンと鍵を探して英語でやりとりをしたり、歌とリズムに合わせて頭と体をフル回転。お友だちと大笑いしながらも、うまくできないことがあると、泣きべそをかくこともあります。だけどすべてが大切な経験です。

## 低学年から英語に慣れ親しみ コミュニケーション力を育む

1～2年生が週2時間、5～6年生が週3時間、英語の時間を設定。全年年齢ティーチング・センターによる授業があり、「Listening, Speaking, reading, writing」を通して、豊かなコミュニケーション力を育んでいます。1年生からアルファベットを書く練習や絵本を読むことで文字への抵抗をなくし、低学年ではゲームやリズムに合わせて日常会話を覚えます。3年生から単語や文章の読み書きが始まるので、高学年になると簡単な文章が書け、ストーリーを音読したり、意味を理解したりできるようになります。そして、4年生以上は英語検定試験も受験します。

## レシテーション(暗唱)コンテスト

夏休み明けに4～6年生を対象とした英語の音読発表が行われます。各学年三つのストーリーから一つを選び、ホームページからダウロードできるネイティブの先生の朗読とともに練習に励みます。クラスでの発表会を経て、一学年4名の代表者が、校内レシテーションコンテストに参加。さらには5、6年生の優勝者2名が私立小学校連合会主催のレシテーションコンテストに出場します。



## スピーチコンテスト

暗唱の部と弁論の部に分かれ、全員が参加して予選を行います。暗唱の部では正しい発音はもちろん、いかに内容を伝えられるかがポイントに。弁論の部では身近な事から社会問題まで、様々なトピックを扱うスピーチを作成して披露。「聴衆に何を伝えたいか」ということが大切です。そして成績上位者は全生徒を前にしてのスピーチ。また聴く側の生徒にとってはその内容を考える場でもあります。



## レベルに合った習熟度別授業 効率的に英語を学ぶ

中学1年生では初めて英語を習う生徒もので「併設小学校クラス」と「その他の小学校クラス」に分かれて学びます。中学2、3年生は習熟度別に「発展クラス」「総合クラス」に分かれ、自分に合ったスピードで進んでいく授業を開催しています。そして、高校では「発展クラス」「総合クラス」「基礎クラス」と3つの習熟度別クラスに分かれ、それぞれ少人数で授業を行っています。また、到達度確認として、中学2年生から高校3年生までは全員がTOEIC Bridgeや英語検定試験などを受験。一人ひとりが目標を高く設定し、日々の授業から生きた英語を学んでいます。

幼稚園から高等学校まで、こうした取り組みを通じて生徒たちは「聞く・話す・読む・書く」の4技能をフルに使います。そして、創立者が願った「自分たちに与えられた使命を自覚し、社会に貢献できる女性」になるため、年月をかけて培われてきた英語の能力をいかに活用させることができるか。それが本学院のめざす英語教育なのです。

## 私の夢を陰ながら見守ってくれた 先生方や友だちに感謝!

大湖 せしるさん



宝塚歌劇団雪組

宝塚歌劇団に入団した当初は、先生方に「公演を観に来て下さい」とお声がけしても良いものかと思っていましたが、最近ではよく公演を観に来てくださり、その度に「がんばつてね」と声をかけていただけるのがうれしいです。

学を決めたのは?

母は、私は宝塚音楽学校を受験させたかったらしいのですが、まずは勉強ありきで、しつかりと人間的にも

寄ついていたものでした。ご退職されてしまつたので、ものすごく寂しいです。

聖母被昇天学院中学校への入

いです。

教育してもらえる学校に行かせたいと思つたようです。いろいろな学校を見学したところ、意見が一致したのは本校だけで、二人ともこぢんまりとした雰囲気と、先生方に温かみを感じ、入学を決めました。

中学時代、すでに宝塚コドモアーティストに通っていたのでクラブ活動もせず、ほぼ毎日、授業が終わればお稽古事モード全開。帰り支度をしながら、バレエのレッスンがすぐにできるよう、ヘアスタイルをショートヘアを束ねて後頭部でまとめる)にして大急ぎで宝塚のお稽古場に直行していました。とにかく踊ることが大好きだったのです。とにかく踊ることが大好きだったので、勉強との両立も苦になりませんでした。

か?

入学後、初めて体験したお御堂(聖堂)でのミサがとても印象に残っています。以来、毎週一生懸命耳を傾けるようになりました。ですが、そこでは心に残る話をたくさんしていただきました。あと、行事では「アサンブランチヤリティーデー」が思い出深いです。クラスの出店準備やお母様方のお手伝いをしながら、友だちとお買物をしたり、食べ歩いたりするの

が楽しみでした。

——印象に残る先生は?

国語の東山民子先生です。女性なのに「男らしく」カッコいい。いつも自宅の和室にこもってダンスのビデオを観たり、自分で振り付けを考えたりして練習をしていました。

受験することは限られた友達にしか言つてなかつたので、合格を伝えたらびっくりされたけれど、みんな自分のことみたいに喜んでくれました。東山先生には叱られそうな気がしましたが、「おめでとう、がんばったね」と言ってください、聖母被昇天学院にて良かったと心から思いました。初舞台をこつそり見に来てくれた先生や友だちもあり、陰ながら私を応援してくれていたのだと胸が熱くなりました。

学校から醸し出される  
温もりに「ひとめぼれ」

—— 本校には観る人を夢の世界へ

誘つてくれる宝塚歌劇が大好きな児童、生徒も多いはず。現在、雪組で活躍する大湖せしるさんもその一人だ

だけなんですが、いざお稽古になるとシンプルなレオタードでしょう。「こんなのが着たかったんじゃない!」

とショックを受けたものです(笑)。だから、最初はあまり気乗りしなかつたのですが、続けるうちに楽しくなってきた、小学4年から中学3年またのかもしれません。今回は大湖さんによると、学生時代の思い出は?

入学後、初めて体験したお御堂(聖堂)でのミサがとても印象に残っています。以来、毎週一生懸命耳を傾けています。が、そこでは心に残る話をたくさんしていただきました。あと、行事では「アサンブランチヤリティーデー」が思い出深いです。クラスの出店準備やお母様方のお手伝いをしながら、友だちとお買物をしたり、食べ歩いたりするの

が楽しみでした。

—— 印象に残る先生は?

国語の東山民子先生です。女性なのに「男らしく」カッコいい。いつも自宅の和室にこもってダンスのビデオを観たり、自分で振り付けを考えたりして練習をしていました。

受験することは限られた友達にしか言つてなかつたので、合格を伝えたらびっくりされたけれど、みんな自分のことみたいに喜んでくれました。東山先生には叱られそうな気がしましたが、「おめでとう、がんばったね」と言ってください、聖母被昇天学院にて良かったと心から思いました。初舞台をこつそり見に来てくれた先生や友だちもあり、陰ながら私を応援してくれていたのだと胸が熱くなりました。

—— 舞台で魅せる華麗なダンスの原点は「脇レッスン」だったのですね。

小さい頃、母に連れられて宝塚歌劇を見ていましたが、客席で寝ました。まず宝塚歌劇団をめざしてきました。たまにかけは?

家族にしてみたら「ドタバタうる

ドレスやチュチュを着てみたかったのも、きっかけを言うなら小学1年か始めたバレエかな。単純にかわいい

だけではないことがわかるのです。だから、廊下や運動場でも見かけた用がなくとも「先生!」って駆け

## 今、聖母被昇天学院に いるこの時間を 大切にしてほしい

——お気に入りの場所は？

やっぱり聖堂ですね。あれこれ考え  
ことをしたり、心を空っぽにしたり  
……いつまでもボーッと座つていられ  
る空間だからです。外観は当時とす  
かり変わつてしまつたけれど、独特  
の厳かな空気感はいつまでも同じ。

——本校には大湖さんのようにな  
りたいと夢見る生徒さんもいるで  
しょうね。

——大湖さんは学校に来られるとき  
かに校門が入り待ち、出待ち”状態  
になってしまいます。

現在、歌劇団には先輩が1人、後輩  
も2人在籍しています。先輩はお稽  
古場などで顔を合わせると「あなた  
も『聖母被昇天学院』だよね」と優し  
く声をかけてくださるし、私も後輩  
たちを見かけたら自分から親しく話  
しかけたくなっています。すると  
、あつという間に学生時代に戻つて  
“同窓会状態”。これが本校の持つ温  
かさなのでしょう。

——愛すべき聖母被昇天学院の後  
輩たちへ一言お願ひします。



芸名の「大湖せしる」というのは、宝塚の受験スクールに通っていたときの先生につけていただきました。「せしる」を漢字で書くと「世知」で、広く世に知られるという願いが込められており、漢字では硬すぎるのでひらがなにしました。大湖の湖は、大ファンだった元星組トップスター湖月わたるさんの一字をいただいてつけました

——宝塚歌劇を観ていると幸せな  
気持ちになれるのはみんなのそ  
んな努力があるからなのでしょう  
ね。将来はどんな男役になりたいで  
すか？

昔はそう聞かれたとき「包容力の  
ある男役を演じたい」と答えていた  
のですが、娘役をする機会が増える

いで。授業が始まっているのに教室  
になかなか戻つてくれず、学校にご  
迷惑をかけてしまうこともあるので  
申し訳ないくらい。でも「宝塚歌劇の  
大ファンなんですね」と言われたら、思  
わず「ありがとうございます！」って感動しちゃ  
います。

——大切なことでも鮮明に覚えていま  
す。みんなが今、聖母被昇天学院に  
いるだけでもすごくステキなことな  
のだから、学校生活の一日一日を大切  
にしてほしいです。

——大切にしている言葉やモット  
ーはありますか？

今年、歌劇団に入つて11年。決して  
古場などで顔を合わせると「あなた  
も『聖母被昇天学院』だよね」と優し  
く声をかけてくださるし、私も後輩  
たちを見かけたら自分から親しく話  
しかけたくなっています。すると  
、あつという間に学生時代に戻つて  
“同窓会状態”。これが本校の持つ温  
かさなのでしょう。

——愛すべき聖母被昇天学院の後  
輩たちへ一言お願ひします。

### profile

2002年、宝塚歌劇団入団。星組公演『プラハの春／LUCKY STAR!』で初舞台を踏み、同年5月、男役として雪組に配属。2004年、宝塚歌劇専門CSチャンネル「TAKARAZUKA SKY STAGE」の第3期スカイ・フェアリーズを務める。2007年には『エリザベート』では黒天使で、抜群のダンス力を披露。2008年『マリポーサの花』の新人公演で初主演(本役:水夏希)を果たす。現在、男役も娘役ともにこなす雪組のスターとして、なくてはならない存在に。愛称はせしる、せし。3月からの宝塚大劇場雪組公演に出演。



宝塚大劇場雪組公演

グランド・ロマンス「ドン・カルロス」

グランド・レビュー「Shining Rhythm!」

▶公演期間

3月9日(金)～4月9日(月)

▶お問い合わせ

宝塚歌劇インフォメーションセンター  
0570-00-5100(10:00～17:00 水曜定休)

▶宝塚歌劇ホームページ

<http://kageki.hankyu.co.jp/>



聖堂に初めて足を踏み入れたときの厳かな気持ちを忘れず、この学校におられるシスターたちのようにいつも笑顔で前向きに生きていきたいです。



## 「放てば手に満つる」

ローマ法王である教皇様は毎年、1年の始まりに全世界のカトリック信徒と全世界の人々にむけて「平和のメッセージ」を送られます。

高名な神学者ラツィングガー枢機卿として知られた教皇様の今年のメッセージでは「教育の大切さ」について語っておられます。今までの時代を造り上げてきた大人たちへ、そしてこれから世代を担う若者たちに、「真理と自由、正義と平和をもたらす」ために特に「教育の使命」について語っておられます。特別教育者にあてた箇所もあります。

ここでそれを全部紹介することはできませんが、私は、教皇様と私たちの創立者聖マリ・ウージェニーの考えがあまりにも合致しているので、大変感動を覚えました。「人間とは何か? 何のために生きるのか?」と深く問い合わせることから「真理と自由、正義と平和」を正しく理解して、社会の変革のために働くための道筋が示されています。「人間は関係的な存在です。人間は、他者とくに神との関係のうちに生きています。神と無関係に真の自由を得ることはできません。『自己』とその好みだけを行動の基準とするならば、それはいつか人を閉じこめる牢獄となります。」教皇様のお言葉です。そ

「放てば手に満つる」と  
したのかについて少しお話ししたり

いと思います。教皇様のメッセージを読み、マリ・ウージェニーの考え方と共に鳴しながら、「では日毎私はなにをすればいいのか、自己の解放、これこそもつとも難しい……」と考えおりましたときに、日本曹洞宗開祖、道元のこの言葉に出会いま

した。「單純明快!」そうです。私たち一人一人が握りしめているもの、物? 考え方? 地位や名譽? 財産? 値観? を捨てればいいのです。するとみんなが捨てた物が大きな宝になります。

して創立者聖マリ・ウージェニーは「子どもたちが、エゴイズム、自己中心主義、高慢、快樂と安易さを求めるなどを克服することができるよう助けることが私たち教育者の務めなのです。利己主義からの解放こそ様々な社会的、政治的に緊迫した状況に立ち向かい、心から圧迫されている人々の声に耳を傾けることができるようになるのです。」と言つております。創立者が目指した「社会を変革する教育」は見事に教皇様のメッセージによつて「良し」とされている、と深い感銘を受けました。

さて、ではなぜ表題を

「放てば手に満つる」と書いたからである。とあります。イエスも道元も同じことを言つています。

聖書ではルカの福音書6章38節に「与えなさい。そうすれば、あなたがたも与えられる。押し入れ、ゆとり、こぼれるほど升の量りをよくして、あなたがたの懷に入れてください」と思いました。

聖書ではルカの福音書6章38節に「与えなさい。そうすれば、あなたがたも与えられる。押し入れ、ゆとり、こぼれるほど升の量りをよくして、あなたがたの懷に入れてください」と思いました。世界平和を祈りつつ。

